

Parlando

ぱるらんど 「語りかけるように歌う」という意味の楽想記号です

265



Contents

書架を眺めて…大津直規 ● 1

Parlando Interview 心理学は「性格の検査とカウンセリング」だけではありません…古川聡先生
きき手・河田篤子… ● 2

LA PENSÉE MUSICALEーチャルメラの精神世界ー…2009年度国立音楽大学音楽研究専修 研究発表会
(音楽学研究コース・音楽情報社会コース・マネジメントコース) 専門ゼミ I II ● 6

図書館委員の先生からのおすすめ ～このDVDあの楽譜 ②

フランシス・プーランクと友人達…大友太郎 ● 8

ジローティ編曲によるバッハ…小川哲生 ● 8

誠実に生きた女性、マリア・カラス…長井進之介 ● 9

資料の館 ⑥ 作曲された作曲家 -OPACで遊ぶ-…石川泰子 ● 10

参考図書室をあるこう ③… ● 12

館長室の窓から ⑪ リルケの手紙…佐藤真一 ● 13

CD 1 週間貸出の状況について… ● 13

Book/CD/DVD…永井綾・鈴木信太郎・工藤賀大 ● 14

Information… ● 16

書架を眺めて

大津 直規

私の職場は、線路南側の別科棟です。土曜日には調律実習のためにSPCと5号館に行きますが、それ以外の平日は本部棟や図書館を訪れる以外は別科棟で過ごしているために、学内の方々とほとんど顔を合わせる機会がない生活です。中学1年生から管楽器を始め、高校1年の秋から3年半、エチュードに明け暮れる日々でしたが、自分で吹いてみたい曲、好きな作曲家との出会いもありました。自分が吹いていない時は、買うことのできた限られた枚数のレコードが鳴り続けているという状態でした。しかし、別科に入学すると実習に明け暮れる日々となり、学んできた楽器に接する時間も少なくなりました。

そのころから自分の好きだった作曲家の生きた時代の社会環境を知りたくなり、本を探すようになりました。世界史の授業ではそれぞれに地域の歴史を縦割りに学習することが多いのですが、音楽史上の一時代を取り上げて、その年代で地球を輪切りにすると意外な発見に出会うこととなります。切っ掛けは、1980年2月に朝日新聞夕刊で連載の始まった『中世の窓から』（阿部謹也著 176-1261）でした。

好きな作曲家の時代に身をおきたくて読み始めた本は、その作曲家の2、3世代前の時代を手始めに、どんどん歴史をさかのぼっていくことになりました。私がおもっても本を読んだこの時期に、私は一人の調律師として生きていました。仕事の先々で最寄りの書店にも立ち寄り、社会科学、自然科学、人文科学の棚をあさる日々でした。ギリシャ時代には、天文・幾何・算術とともに4大教科の一つであった音楽ですが、そこから自分が高校時代から学生時代に出会った好きな音

楽への多くの興味がつなかりました。時には、作曲家の技法の変化を鍵盤楽器の改良面からだけでなく、社会的環境や価値観とその移り変わりに自身を置いて考えたりもしました。

このように本を読み続けてきた私にとって避けて通ることのできなかつた本が、M. プレトリウスの *Synagma musicum* (音楽大全) の第2巻(郡司すみ訳 『音楽大全II 楽器誌』 CG4-126) です。

『音楽大全』は多くの楽器学の本に引用され、私も原著の復刻版を手にはしていたものの、日本語では出版されていませんでした。ところが私が本学に非常勤講師として関わり始めた年に、名誉教授・郡司すみ先生から、先生の手によつて第2巻の訳ができあがっていること、出版をお考えであることをお聞きしましたが、その原稿を読ませていただいた時の感激を忘れることはできません。その後、出版されて、だれもが、いつでも日本語で読むことができるようになったことはすばらしいことだと思います。

ところで、個人の書架と図書館の果たす役割には大きな違いがあると思います。ある恩師の転居のお手伝いで書架を整理させていただいた時に、個人の「知の歴史」を垣間見させていただいた気がしました。自宅なのか図書館なのか、本の所在はいろいろでも、心の中には自分自身の書架ができていて、そのような「知の歴史」を残したいと思います。

学生時代に聴き続けた演奏がCDとなつて所蔵されているのを探し出したり、演奏してみたかった曲の楽譜を借りて「ちよつと吹いてみる」楽しい時間を過ごすために、私の図書館通いは続いています。

心理学は 「性格の検査とカウンセリング」 だけではありません

古川 聡 先生



古川 聡 (ふるかわ さとし)

東京都生まれ。横浜国立大学教育学部卒業。筑波大学大学院心理学研究科博士課程単位取得満期退学。筑波大学助手、星薬科大学薬学部専任講師を経て、2001年より国立音楽大学専任講師、2004年より助教授。現在准教授。学術博士(筑波大学)。主な著書『こころの探検』(丸善、単著)、『脳とこころの不思議な関係』(川島書店、共著)、『教職に活かす教育心理』(福村出版、編著)、『ふれあいの心理学』(福村出版、編著)、『クイズと体験でわかる心理学』(福村出版、共著)。主な翻訳書『ほんどうのウソの本』(丸善、監訳)、『ヘルスケアのためのコミュニケーション』(廣川書店、共訳)、『頭の働きを科学する』(マグロウヒル出版、共訳)。

高校時代、ご自分の筆跡に興味を持たれたことから、心理学の世界に漕ぎ出した先生。今日はその事始めをお聞きしました。

クラブに熱中

— 先生のお生まれは？

古川 東京ですけど、育ったのは千葉県です。小学校までは船橋で、中学からまた東京の両国ですね。

— 子ども時代の音楽との関わりは？

古川 姉がやっていたので、私も3年ぐらいオルガンをやっていたのですが、もう弾けませんね。楽譜はどうにか読めるのですが、右と左、違うと指が動かなくなる(笑)。

— 中学でブラスバンドに入られたそうですね。

古川 何となく音がしている部屋に行ってしまっただけです。それで、たまたま「クラリネットが人数足

りないからお前やれ」と言われて3年間没頭してしまいました。

— はじめから音は出たのですか？

古川 音は出たんですけど、なかなか上手にならなくて。クラリネットのちゃんとした先輩が卒業して、教えてくれる人がいなくなっただけです。それで、自分で見よう見まねでやっただけで、上達しないんです。きちんと教わってあげれば、もう少し人生変わったのかもしれないですけど、自己流でずっときちゃいましたから。

— 高校でも続けられましたか？

古川 自分ができるものは何かと考えた時に、運動は無理、絵はだめで、もうオーケストラしかなくて、ブルズルと。

勧誘の時、「楽器は何？」。「クラリネットが一本足りないからお前やれ」。それで新人生歓迎会の時の《未完成》を一緒にやらされたのですね。

— 新入生なのに、舞台上に立たれたのですか？

古川 ええ、自分の歓迎のために。入学後もみんなは勉強しているのに、私は朝から音楽室にいました。

— 自主的にですか？

古川 何しろ先輩と合わせなければいけなくて、その練習に朝と夕方行っていました。勉強なんか全

然でした（笑）。

— 勉強以外に好きなことがあるのは大事だと思いますが。

古川 バランスですね。大抵はどつちかに偏つちやうと思うのですが、今になって考えれば勉強に偏らなくてよかつたなという気がします。

— 上級生になると、先生が中心になつて教えたり、指揮、編曲をされたのですか？

古川 恥ずかしながらやつたのです。自己流でやってきたにもかかわらず、部長になつちやいまして、指揮をさせられたことがあるのですが、歌は歌えないし、リズム感もそんなによくないと思うので、かなり苦労しましたが（笑）。

同級生の中で管楽器の男が3人いて、私がクラリネット、埼玉大学へ行ったフルート、東大へ行ったオーボエで、年中くつついて仲良くワイワイやっていました。

— それがないと、クラブも、音もとまらないですね。

古川 そうですね。合わせるといふのがいい経験だつたと思います。

心理学の道へ

— 先生は、一浪されていますが、現役と浪人の時とは、目指す学部は、

違つたのですか？

古川 最初は、地理学科に行きたかつたのです。ところが理科系になるので私は苦手。じゃ、どうしようかと考えた時に、心理学。というの、私の字は非常に読みやすいと言われるのですが、筆圧が強くカタカタ音もするし、すぐ疲れ、おまけに次の紙まで写つているので友人とは随分違うなと思つたのです。図書館で筆跡について調べたら、『筆跡学入門』という本があつて、書いた人は心理学の人で、そんなことで人間の性格が分かるのかな、やつてみたいなと。

現役の時には、心理学の中の何をやりたいという具体的なイメージはなかつたです。それが浪人の時、病気で入院し医者いろいろな話を聞いて、心理学の中に臨床心理学というのがあるのを知りました。個人の特徴とか悩みとかを研究対象にすることができればいいなと思つて、大学に行きました。

— 横浜国立大学の教育学部小学校教員養成課程ですね。教員になるというお気持ちは？

古川 全然なかつたです。私の時代は一期校、二期校がありました。二期校の中で心理学ができて東京から離れずに、遊べてちよつとおしゃれな大学を探しました。それ

に筆跡の本を読んだ時に、著者が横浜国立大学の先生だつたんです。それで行つてもいいかなと思つて。

— 大学生活はいかがでしたか？

古川 心理学は人間対象の学問なので、お互いに実験をやるんです。1年の時は率先して被験者になつて、先輩たちの全部の実験をやりました。たとえば記憶の実験、単語や絵を覚えて、5分後にどれだけ思い出せるか。観察では、待ち合わせ相手が遅れた時に、待つている態度や、公衆電話のかけ方など、こういう研究にはこういう方法がある、こんなことが分かるんだというのを、いろいろと勉強しました。あれが私にとつて4年間が一番大きかつたと思います。

大学院で心身症に

— 動物実験をする生理心理学に進まれたのですね。

古川 はい。大学2年生の時に赴任してきた若い先生に可愛がつていただいて、入つちやつたんですね。動物実験をやりたいなんていうのは、34人の同級生の中では私1人。動物実験といつてもネズミしか使っていませんけど。

— 大学院は筑波大学ですね。古川 筑波に行つてみたところ、

自分が考えていたのと全然違いました。それで、大学院に入つて1か月半ぐらいで心身症になりましたよ（笑）。夕方になると、耳鳴りで聴こえなくなるんです。一応病院へ行きましたが、原因は自分で分かつてますから。2、3週間過ぎたらもう何ともなかつたです。

— ご自分で治されたのですか？

古川 ここはこういう所だと割り切つたのでしようね。

研究室ごとのしきたりというか、雰囲気の違いがあるのですね。大学が横浜という遊びに囲まれた楽しいところだつたので、そこから周りに何もなくて、勉強するしかないところに行つて、なじめなかつたんです。

それに、最初は筑波の学生がとても賢く見えたのです。だけど彼らは深くは知つていて、幅広く知らない。私は特に専門を持たず、4年間幅広く勉強し、現場で実験をしていたので、深くは知らないけど幅広く知つていて。これなら、自分はやつていけると思つたのでしよう。

学部生の実験を指導

古川 教授は大学院生を指導して、大学院生は学部生を指導して



古川先生の著書～当館所蔵図書から。左から『このころの探検（請求記号●J98-831）』『教職に活かす教育心理（請求記号●J93-639）』『脳とこころの不思議な関係（請求記号●J98-924）』『ほんとうのウソの本（請求記号●J113-216）』『ふれあいの心理学（請求記号●J92-551）』

いました。それで毎年卒論を3人、4人と見ていました。実験も全部です。学生はほとんど下宿しているの、時間があうのはアルバイトが終わってから。私も用事があるので真夜中に一緒に実験をしたり、英語の論文を読んだりというのをしていました。もちろん自分の実験もするんですが、彼らの指導に時間をかなり取られました。それで自分がやっている研究の一

部を学生にやらせてみたり、興味があえばですが、新しいことを始める前に学生に先行してやらせてみたり、ということはしていました。中には全く違うテーマを持つてくる学生もいるので、こちらは負担ですが、それを負担と思うか、自分の守備範囲が広がったと思うかの違いじゃないですか。学生の実験で「妊娠したネズミにお酒を飲ませるとその子どもがどうなるか」というのもやりました。そのため、私自身の実験は朝8時に大学へ行つて、午前中に行っていました。

大学院時代の実験

— 大学院時代の実験テーマは？

古川 心理学の中には、記憶の研究もあつて、私も大学院の時にやっていたのですが、これからは記憶障害を軽減する薬というのがとても大事なのです。その薬を作るにはどうすればいいのかといった時に、若いネズミを使って、脳の一部を壊して痴呆状態を作り、新しく作った薬を飲むと痴呆状態が改善すれば、それは認知症に効く可能性がりますよね。それで、製薬会社がいっぱい作っていました。その他に、生まれてから

2年ぐらいたった老齢のネズミに何かやらせたら、若いネズミと比べて成績が低かった、その老齢ネズミに薬を投与したら記憶が回復したというのが一番いいわけですね。これはクリアに出ないので、そんなことをやっていました。

— まさに時代の最先端の実験をされていたんですね。

古川 もう20年以上も前ですね。究極の目標は、普通の人の知能を高める、頭を良くする薬なのですが、これはとても難しいですね。

— それは欲しいですね（笑）。

古川 もしかしたら、私は今頃製薬会社に勤めていかもかもしれません。大学院の途中で、何人も製薬会社に行っています。私にも就職の話がありましたから。でも自分には向かないと思つたので行きませんでした。

認知症の薬を開発する時に、やはり心理学の実験的な手法が必要なのです。頭の良いとはどういうことかといったら、簡単に定義するのは難しいですよ。頭の良さを調べる方法といったら、これは心理学なのです。それで、動物実験、生理心理学をやっている者が、主だった製薬会社に大体1人はいると思うのです。

— 薬科大学での講義をまとめた著作

『ふれあいの心理学』に、患者さんの立場に立つことか、医療従事者のストレスに関わることが書かれています。たが。

古川 患者の家族を支えるというところが他の本にはないですね。これが一番大事かなと思つていたのです。心理学は細かい理論も必要だけれども、もう少し違う視点からも書きたいと思つたので、患者の家族を取り上げました。ただ、これ売れなかつたんですよ（笑）。売れないので、初版で終わってます。

心理学とは

— 心理学とはどんな学問と思われませんか？

古川 実験室の中だけの心理学ではだめです。心理学の研究対象は人間が中心だと思いますから、世の中の人にもっと積極的にアプローチしていかなければいけません。

医療で言えば、薬剤師は薬しか考えていなかったわけです。薬を開発すれば病気が治るだろうと。でも、薬を処方する、飲むというのは、やっぱり人が介在するわけですね。そういうところに目が行くこと、どうしても心理学的な視点が必要にならざるを得ない。医療に限らず、結局は人ですね。人が

何かして、それを発する人と受ける人がいて、ということを考えたら、いろいろなところのベースになる部分かなと思うのです。

学生に「心理学ってどういう学問？」と聞くと、「性格検査とカウンセリング」と答えます。それだけではなくて、いろいろあるんです。たとえば心地よい椅子の傾き具合とか軟らかさ、これも心理学です。安心する壁の色とか、洋服のデザイン、トイレトペーパーの幅、みんな心理学が関わっています。もつ日常生活の中で心理学が関わっているところを感じてもらえるようになれば、イメージが変わるかなと思います。

— 心理学を学ばれてよかったことは？

古川 玉川上水駅から大学までの歩道に、茶色と白の煉瓦がランダムに並べてありますね。でも、よく見ると違いますね。正門手前少し引つ込んだ入口を作りましたが、あそこに1箇所だけ7、8枚、白と茶が縦に並んでいる所があるんです。煉瓦職人さんの特徴というか、気質というか、傾向で、ランダムにしているはずなのですが、ランダムじゃないんですね。そういったところに目が行っちゃうんですよ。分析しようと思っただけ見るわけではないのですが、何か

見た時に、ちよつと普段と違うところがあつた時に、「おっ？」と思ったりしますね。

行きたい所がたくさんあつて

— 先生の趣味や、余暇の過ごし方を教えていただけますか。

古川 趣味になるのかな、元々地理をやったかつたので、旅行地理検定の国内編と海外編を受けています。それは知識だけなので、現地に行つてみたい。イスラエルのエルサレムへ、イランのイスファハンでモスクを、アフリカのナミビアでナミブ砂漠を、ポルトガルのロカ岬で大西洋を見たいんです。通勤のバッグの中には旅行代理店のツアーのパンフレットが必ず5、6冊入っていますけどね（笑）。私、小学校の時にイランに行つてみたいと思つたらしく、イラン大使館にパンフレットを請求したんです。アラビア語は全然読めませんが、言葉も通じなければ文字も分からない中に自分を置いてみたいんです。どうなるかなと思つて。

国立の学生気質

— 先生が教えていらした他大学の学

生さんたちと、国立の学生さん、違いはありますか？

古川 やつぱり大学の雰囲気ってありますね。国立の学生さんは、いい意味で育ちがいい。感性が豊かなのでしよう。冗談を言つてもちゃんと笑います。私の話を比較的素直に受け止めてくれ、すぐ吸収する。その吸収力が違いますね。だから、それをもつともつと伸ばせばいいと思うのです。

— 最後に、学生さん達に先生から一言いただきたいのですが。

古川 私は大学の時に心理学以外のことをいっぱいやつたのです。友達を作ることが一番で、毎年旅行に行つたり、山に登つたり。

音楽大学だとしても音楽という尺度でやらなければいけない感じがありますね。だけど、音楽大学にいるからこそ、音楽以外のことをやってほしいなと思つています。教養科目の心理学でも、旅行でも、山登りでも、本を読んでもいいです。音楽ということだけでなくて、違う学問的なことを。それが将来の役に立つのではないかなと思いますね。

— 今日本当にありがとございました。

古川先生おすすめの本

『マンウオッチング 人間の行動学』デズモンド・モリス著、藤田統訳（請求記号●J16-110）

人間の何気ない動作をよく観察して見ると、そこにはその人の欲求や意思が隠されています。心理学をやっていると人の心がわかるのではないかと言われませんが、実は他者の動作をさりげなく観察して、その裏にあることを推測しているに過ぎないのです。この本を読んで、あなたも心理学者になりましょう。

『脳の探検 上・下』フロイド・E・ブルーム他著、久保田競訳（請求記号●J72-292~293）

このぼろろんと手に取つた時も、この欄を読んでる今も、脳は活発に働いています。脳が動いているからこそ、本を手に取ることも読むこともできます。そのような脳の動きを豊富な図を使ってわかりやすく説明してくれます。この本をさらに読みやすくしたのが拙著『脳とこころの不思議な関係』です。

『つだけに行つてみたい音楽のある景色』西岡詠美編（請求記号●J13-361）

音楽を聴くと、さまざま風景が頭をよぎります。この本では音楽にまつわる世界の55カ所の風景が美しい写真で紹介されています。その土地に行つて、そこでの音楽を聴きたいと思つています。

●かわた あつこ 心理学って年齢と共に理解が深まるように思います。本を読んでもなるほどと…。もっと早く理解できていれば人生変わったかもしれません。

LA PENSÉE MUSICALE

—チャルメラの精神世界—

2009年度国立音楽大学音楽研究専修 研究発表会
(音楽学研究コース・音楽情報社会コース・マネジメントコース) 専門ゼミ I II

♪ソラシラシラソ

♪ソラシラソラ〜…♪

何のメロディかわかりますか？
そう、あの有名なラーメン、チャルメラのCM曲です。元々は、舞台のラーメン屋の客寄せとして使用されていました。

では、日本人なら誰もが知っているであろうこのメロディを奏でている楽器についてはどうでしょう？なんとという名前の、どのような楽器に分かりますか？

実は楽器の名前もチャルメラといえます。ダブル・リードの楽器です。そしてこの楽器にはたくさんの親戚がいて、世界各地に似たような楽器があるのです。

今年の研究発表会では、チャルメラという楽器をテーマに、あまり知られていないその姿を明らかにしていきます。あなたの知的好奇心をくすぐる内容を、今回は特別に少しだけ紹介します。

「チャルメラ」の原点

チャルメラはダブル・リードの気鳴楽器です。「reed (リード)」とは、元々、英語で「葦」を意味する言葉であり、リード楽器と呼ばれる物の多くは、この「葦」で作られています。

今回取り上げるチャルメラ、その例外ではありません。「葦」を意味するラテン語「calamus」が転じて、ポルトガル語「charmelina (シャルメラ)」となり、それが日本に「チャルメラ」として伝わったのです。

こうしたダブル・リードの楽器の原点は、一説にはササン朝ペルシアの時代に遡るとされており、チャルメラの歴史の出発点もそこにあるとされています。

「チャルメラ」の歴史

それでは、チャルメラがこれまでどのような歴史を辿ってきたかを見ていきましょう。前述のササン朝ペルシア時代の後に、ダブル・リード楽器は、東と西にそれぞれ別れて人々に伝わります。そして二つの異なる歴史を歩むことになるのです。

西へと伝わったダブル・リード楽器はヨーロッパを中心に発達しました。一説によると、その後、今日のオーボエなどの原型となる「シヨーム」へと移り変わり、ポルトガルでは最終的には「シャルメラ」と呼ばれる楽器に変遷したそうです。この楽器はキリスト教の典礼音楽で少年合唱団の伴奏に用いられていたといわれており、日本には16世紀後半にキリシタンとともに伝来しました。



チャルメラ
[東京藝術大学
小泉文夫記念
資料室所蔵]



哨呐 (スオナ)
[東京藝術大学小泉文夫記念資料室所蔵]

一方、東へと伝わったダブルリード楽器は、シルクロードを通じてインドや中国等で発展しました。インドでは「スルナイ」などと呼ばれている楽器は、中国では「哨呐^{すおな}」という楽器になっっています。インドでは、祭りや結婚式、軍楽など、その場を盛り上げるためにこの楽器が使用されています。一方、中国では、京劇の一部の演目や行商人の間で、この楽器が用いられていました。日本には16世紀以降に伝わりました。

こうして日本には、様々な歴史を経て、ほぼ同時期に、ポルトガルのシャルメラと中国の哨呐^{すおな}が伝わりました。今日の日本のシャルメラは、名称はポルトガルからのものですが、楽器そのものは今日も含め中国の哨呐^{すおな}を継いだものです。

日本では、飴売りの行商人がシャルメラを使用していた他、歌舞伎囃子で中国情緒を表現するために用いています。特に飴売りの行商人のシャルメラは、その後の夜泣きそば屋(夜に、笛を吹きながらソバの屋台をごろごろと引く商売の人)やラーメン屋台の前身と考えられるわけです。

同じ血をひく楽器も、地域によつてずいぶん用途が異なることがわかれると思います。その楽器の背景にある人間の営みや心理を探るなど、それぞれの様相を多角的に検証することで、一つの楽器をめぐる音楽世界の様子を、研究発表会でさらに追究します。

「シャルメラ」をもっと知りたい

当日の研究発表では、シャルメラの祖先となる楽器の演奏も行う予定です(予定は未定です)。

また、おいしいイベントもあるかもしれません(予定は未定です)。

日常生活ではあまり触れることのない楽器を知ること、私たちが普段浸っている音楽の世界はまだまだほんの一握りにすぎないということを改めて実感できるのではないでしょうか。

楽器に興味のある方、これから音楽生活に幅を持たせたい方、ラーメン屋を始めたい方、どなたもお誘い合わせの上、ぜひ研究発表会にいらしてください。



参考資料

- ◆海老澤有道『洋楽伝来史 キリシタン時代から幕末まで』日本基督教団出版局、1983 (請求記号: C35-890)
- ◆柘植元一監修『シルクロード 楽器の旅』音楽之友社、1992 (請求記号: C55-191ほか)
- ◆柘植元一監修『シルクロードの響き ベルシア・敦煌・正倉院』山川出版社、2002 (請求記号: J97-140)
- ◆中島幸三郎『支那行商人とその楽器』富山房、1941 (請求記号: C2-727ほか)
- ◆林謙二『東アジア楽器考』カワイ楽譜、1973 (請求記号: C19-918ほか)
- ◆魯大鳴『京劇への招待』小学館、2002 (請求記号: J94-689)
- ◆明星シャルメラ (身近のコンピニ、スーパーなどでお買求めください)

参考になる食べ物

◆明星シャルメラ (身近のコンピニ、スーパーなどでお買求めください)

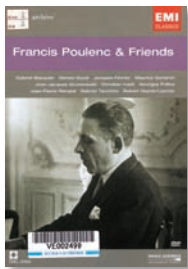
フランシス・プーランクと友人達



大友太郎

楽譜というものは作曲家が演奏家に伝えたい全てのメッセー
ジが込められているものですか
ら、よく読めばその曲をどのよ
うに演奏すればよいかがわかる
：と普通音楽家の間では言われ
ています。しかし曲をどの様な音
色で、またどんな雰囲気で演奏
すれば良いのかという最後の味
付けのようなものは、作曲家が
生きていて話を直接聞くことが
できると直ぐに出来るのですが、
なかなか難しいものです。色々
な曲に取り組む度にCDを聴き、
関係書籍を読みあさり、ありつ
たけの情報を得て、それでも解
釈に悩むことはしばしばあるも
のです。プーランク作品の演奏

解釈でお悩みの方の場合は是非
このDVDをご覧下さい。この
映像の中には本物のプーラン
ク氏の貴重なレクチャーがありま
す。これを見るだけで彼がいかに
情熱的で気さくな人柄であつた
かが感じられ、誰にでも親しみ
やすい彼の作品の数々を演奏す
る際の心構えというか気分が変
わります。その他の内容は、2
台ピアノのためのコンチェルト、
歌曲の伴奏、フルートの名手ラ
ンパル氏とのソナタの共演シー
ン等、友人達と共に度々登場す
るプーランク氏の自然で温かさ
のある演奏シーンの何と素晴ら
しいことか。恐らくプーランク
の音楽にとつて最も大切で、活
字で表すことがとても難しい香
りや温もりが感じられること
でしょう。



請求記号●VE2499
Francis Poulenc
(Francis Poulenc & Friends)
EMI Classics 0946 310201 9 3

●おおもたろう 本学准教授(フルート)

ジローティ編曲によるバッハ



小川哲生

もう何十年前になるだろうか、
わざわざ横浜まで出掛けていつて
聴いたエミール・ギレリスのリサ
イタル。「鋼鉄のタッチをもつピ
アニスト」と呼ばれていたギレリ
スだが、もつとも印象に残ってい
るのは、最後のアンコールで弾い
たバッハのプレリユードによく似
た素敵な小品だった。
薄明かりの照明の中、その曲は
広い宇宙空間の中で小さいが透明
度の高い星のように光を放っていた。
演奏会から長い間曲名も知らな
かったが、その後お茶の水の中古
レコード店で見つけたギレリスの
チャイコフスキーのピアノ協奏曲
第一番のレコードに「バッハ・シ
ロティ編 前奏曲第10番短調」
と書かれていて、「これだな！」
と歓喜。ここでもやはりアンコー
ルとして弾かれたのである。

楽譜もなかなか手に入らずに
いたが、2005年に国立の図書館
とCarl Fischer版のThe Alexander
Siloti Collectionという真新しい
楽譜を発見！

まるで写真集のような美しい装
丁で、交流のあつたチャイコフス
キーやリスト、従弟のラフマニノ
フとの演奏活動など、詳細な記述
は当時のロシア音楽界の繁栄に彩
られている。

お気に入りのプレリユードはし
っかり1曲目に載っています。

バッハの作品はこれまでブゾー
ニ、ブラームス、ケンプ、M・ヘ
ス等、数多く現代ピアノ用に編曲
され、まったく色褪せること無く
今日なお人の心を捉えている。

このジローティ版、厳格なバッ
ハ先生にも是非聴いて頂きたい。



請求記号●G29-673
The Alexander Siloti collection.
C. Fischer ISBN 0-8258-4730-3

●おがわてつお 本学准教授(声楽)



誠実に生きた女性、 マリア・カラス

音楽研究科修士課程器楽専攻(伴奏) 1年
長井進之介

記事を書かせて頂くにあたり、私の一番好きなオペラ歌手であるマリア・カラスについて書こう、ということはい早い段階で決まった。しかし、ここでカラスの遺した偉大な功績と、歌の素晴らしさについて述べることは、全く意味がないだろう。彼女の多岐に渡る芸術活動は、幸運にも初期LPの全盛時代と重なり、見事に録音されて残っている。それらを聴いて頂くのが一番だ。では、私が私らしく、マリア・カラスについて書けることとはなんだろう…と考

えたとき、一つの映画が頭に浮かんだ。《永遠のマリア・カラス》である。この作品の紹介を通して、カラスの芸術に対する誠実さについて書かせて頂きたいと思う。

この映画は、著名な演出家であり、カラスの親しい友人でもあったフランコ・ゼフィレッツリ監督による、カラスの亡くなる前の数ヶ月にスポットを当てたフィクションである。かつての歌声を失い、隠遁生活を送るカラスに、友人であり、プロモーターのラリーがあり、彼女の全盛期の録音を使ったオペラ映画《カルメン》を製作するという話を持ちかける。最初は「ごまかしを演じろというの!」と反発するカラスだったが、役作りにのめりこむうちに、かつての輝きを取り戻していく…という物語である。映画の中心、そして見所は劇中劇《カルメン》であろう。カラスの歌声と、マリア・カラス役のフアン・アルダンの演技が完全に融合し、カルメンを演じる

カラスを間近で観ているような錯覚に陥る。生前カラスはカルメンを舞台では一度も演じたことはない。しかし、カラスが演じたらきつとこういう演技をしたであろうと思わせてしまうような、見事な完成度なのである。

しかし、この映画でゼフィレッツリが描いたマリア・カラスという芸術家の真髄は、《カルメン》製作シーンから見えるカラスが求める完璧への探究心、そして、映画の完成後、ラリーに対し「私のオペラ人生は幻想ではなかった」と言い切り、作品の破棄を求める凛とした姿にあったのではないだろうか。カラスにとつて、旋律の一つ一つは音楽ではなく、ヒロインの感情そのものであった。そして作品の真実に迫る徹底的なプロローグは、オペラを文字通りの「歌劇」へと進化させたのである。彼女は、グルックやヴァーグナーの行ったオペラ改革を、歌手としてできる最高の形で昇華させたオペラのミューズと言えるだろう。その偉業を成し遂げる為に、彼女は絶えずたゆまぬ努力で才能を磨き上げ、いつでも自分のすべきことを理解して貫き通したが、その代償として、孤独、苦悩、失恋を背負うこととなつてしまった。しかし、生

No Image

請求記号●VE 672
『永遠のマリア・カラス』

*発売元: ショウゲート・
販売元: ボニーキャニオン
¥4,935(税込)・発売中
(C)Medusa Film-cattleya-film
and General Productions-
Galfin-Alquimia Cinema-
MediaPro Pictures

参考資料

- ◆『The Callas conversations / Maria Callas. EMI Classics, TOBW-3552 (CD)KAD009●VE 520』
- ◆『ノルマ・歌劇(全曲)』EMI Classics, TOCE-3942~3944 (CD)水戸市立音楽院●XD43375~43377』
- ◆『華麗なオペラ「タバ」Dreamlike』DMI B-30 (CD)水戸市立音楽院●VD1604(再)』

前に「たとえ最悪の夜でも少なくとも私は誠実だった」と語っていた通り、カラスはいつでも作品、そして役柄に対して誠実であり続けたのである。劇中の「心と魂を込めて自分のすべきことをしなさい。決してごまかさなさい」という台詞は、それを的確に表しているのではないだろうか。

この作品は事実を描いたものではない。この物語の中にある晩年のカラスは、ゼフィレッツリの想像によつて生まれた姿である。しかし、この映画からはカラスの一人の人間としての豊かな感情と、絶えず誠実であった芸術家としての生き方が、本当の理解者であったゼフィレッツリの力を得て、丁寧に、美しく描き出されている。彼女の芸術を尊敬し、一人の人間として愛したゼフィレッツリの眼差しの中で生きたマリア・カラスが、ここにいる。

●ながいしんのすけ 生まれ変わったら絶対に歌を本格的に勉強して、オペラ歌手を目指したいです(!?) 声種はソプラノ希望。演じてみたい役は、秘密ですw

ライヒャ、アントン モーツァルトの主題による変奏曲と幻想曲
(フルート、ヴァイオリン、チェロ)

ランナー、ヨーゼフ モーツァルト 党
当館では弦楽アンサンブル、管弦楽による録音資料のほか金管アンサンブル用の楽譜を所蔵。

リムスキー・ニコライ モーツァルトとサリエリ (歌劇)
レーガー、マックス モーツァルトの主題による変奏曲とフーガ、管弦楽

J.S.バッハをしのぐ数の作品が見つかりました。オペラからテーマを借りた変奏曲が多いのはなるほどとうなずけるところでしょうか。モーツァルト自身を登場人物にしたオペラやミュージカルもありますね。

次に、「モーツァルト」の中で一番作品数の多いベートーヴェンをたどってみます。

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

クライスラー、フリッツ ベートーヴェンの主題によるロンディーノ
(ヴァイオリン、ピアノ)

サン・サーンズ、カミーユ ベートーヴェンの主題による変奏曲
(ピアノ2台)

シューマン、ローベルト ベートーヴェンの主題による自由変奏形式練習曲
(ピアノ)

田中カレン At the grave of Beethoven (弦楽四重奏)

ペーム、テオバルト ベートーヴェンの主題による幻想曲 (フルート、
ピアノ)
オリジナル・タイトルは“ベートーヴェンの”ですが、実際はシューベルトの
作品にもつづいています。

リスト、フランツ ボン・ベートーヴェン記念像除幕式のための祝典
カンタータ

レーガー、マックス ベートーヴェンの主題による変奏曲とフーガ
(ピアノ2台)

リストの作品は“作曲者の名前を織り込んだ作品”と言って
よいか難しいところですが、せっかくなので加えてみました。

🎵 アンヴァーサリー

バッハ、モーツァルト、ベートーヴェンと来たので、今年没
後200年のハイドンについても調べてみました。

ヨーゼフ・ハイドン

グランジャン、マルセル ハイドンの主題による幻想曲 (ハーブ)

鶴田睦夫 ハイドン風カリブソ・ソナタ (ヴィヴラフォン、マリンバ)

デュカ、ポール 悲歌風前奏曲 (ピアノ)
サブタイトル: Prelude elegiaque sur le nom de Haydn

ドビュッシー、クロード ハイドンを讃えて (ピアノ)

ブラームス、ヨハネス ハイドンの主題による変奏曲 (管弦楽)

ラヴェル、モーリス ハイドンの名によるメヌエット (ピアノ)

記念年つながりで、来年生誕200年を迎えるショパンはどう
でしょうか。

フレデリック・ショパン

安藤由布樹 ショパンの心臓 (混声合唱とピアノ)

ヴィラ・ロボス、エイトル ショパンをたたえて (ピアノ)

ゴドフスキ、レオポルド ショパン練習曲 (ピアノ)

シューマン、ローベルト ショパン (「謝肉祭」から) (ピアノ)

シューマン、ローベルト ショパンの夜想曲による変奏曲 (ピアノ)

タンヌマン、アレクサンドル ショパンを讃えて (ギター)

パヌフニク、アンジェイ ショパン讃 (ヴォカリーズ、ピアノ)

当館では作曲家自身によるフルートと弦楽合奏用編曲の録音資料を所蔵。

プゾーニ、フェルッチョ ショパンのハ短調前奏曲による変奏曲と自由な
形式のフーガ (ピアノ)

モンブー、フェデリコ ショパンの主題による変奏曲 (ピアノ)

ラフマニノフ、セルゲイ ショパンの主題による変奏曲 (ピアノ)

リスト、フランツ ポーランドの歌 (ピアノ)

サブタイトル: Chants polonais de Frédéric Chopin

ピアノ用の作品が多いのはさすがと言うべきかなるほどと言
うべきか。

🎵 作曲家を作曲した作曲家

こうして並べてみて、他の作曲家の名前を織り込んだ作品を
いくつも書いている作曲家、という見方もできることに気が
きました。リストはその代表格かもしれませんが。これまであ
げた以外の作品をいくつか書き出してみました。

フランツ・リスト

シューベルトの行進曲 (ピアノ)

パガニーニ大練習曲 (ピアノ)

パガニーニの「鐘」による華麗な大幻想曲 (ピアノ)

リヒャルト・ワーグナーの墓に、ハーブ、弦楽 (弦楽四重奏とハーブ (任意))

リヒャルト・ワーグナーヴェネツィア (ピアノ)

ご存知の通り、リストには他の作曲者の作品にもとづく改作・
編曲がこのほかに多数あります。こうした作品も、大きな
意味では「他の作曲家(の名前)を織り込んだ作品」と言え
るかもしれませんが。娘コージマの夫ワーグナーの名前を織り
込んだ作品があることも興味深いですね。

🎵 オマージュ、追悼

これまで見てきた中に、誰それをたたえて、などと題される
作品がまじっていることにお気づきでしょう。そうした作品
の中から、日本人が関わるものをもう少しあげておきます。

伊福部昭

黛敏郎 Hommage a AI (管弦楽)

ヤニス・クセナキス

湯浅譲二 クロノプラスチック 第3番 (管弦楽)

サブタイトル: ヤニス・クセナキスの追憶に

ジョン・ケージ

一柳慧 イン・メモリー・オヴ・ジョン・ケージ (ピアノ)

武満徹

池辺晋一郎 ケアトルヴァランス 第1番 (ピアノ四重奏)

サブタイトル: Memory of TT

一柳慧 時の佇い 第4番 (フルート)

サブタイトル: 武満徹の追憶に

プロウウェル、レオ 悲歌 (ギター)

サブタイトル: イン・メモリアム・トオル・タケミツ

細川俊夫 歌う木 (無伴奏児童合唱)

サブタイトル: 武満徹へのレクイエム

湯浅譲二 協奏曲、ヴァイオリン、管弦楽

サブタイトル: イン・メモリー・オブ武満徹

尹伊桑

細川俊夫 メモリー (ピアノ三重奏)

サブタイトル: 尹伊桑の追憶に

湯浅譲二 礼楽 (アルトフルート)

サブタイトル: 尹伊桑の追憶に

オマージュや追悼のための作品は、“Hommage” “Memory”
などの単語をタイトルに入力してフレーズ検索すると、他に
もたくさん見つかります。

スペースがついてしまいました。タイトルにひとの名前を織
り込んだ作品はこのほかにもいろいろありますし、これから
も作り続けられていくのでしょうか。人名を織り込んだ作品を
書いた作曲家の名前がまた、同世代や後の世代の作品のタイ
トルになり…。

注

- ▶ 当館で楽譜、録音資料、映像資料のいずれかを所蔵している作品を掲載しました。
編曲版のみ所蔵している作品も含まれます。
- ▶ 日本語で検索できない作品のみ、オリジナルタイトルを掲載しました。
- ▶ 作曲家名とタイトルの表記は、当館で標準としているものです。
- ▶ 必要に応じて演奏手段を付記しました。

参考CD: 「バッハの名による作品集」XD44636
「モーツァルトディアーナ」XD22229

- いしかわ やすこ しばらく前に聴いた、コブクロが忌野清志郎を偲んで作った歌「サヨナラHERO」。
この記事を書くためにOPACに向かいながら、通じるものがあるなとふと思いました。

作曲された作曲家 -OPACで遊ぶ-

石川 泰子

OPACで資料検索をしてヒットしたデータの中に、実在の作曲家の名前がタイトルに織り込まれた音楽作品が混じることがあります。自分が探している資料ではないのだけれどなぜか気になる…。ある人の名前を自分の作品のタイトルにする、その理由はさまざまあると思いますが、どんな名前が曲のタイトルになっているのか調べてみました。

作曲家しりとり

まずは、ために J.S.バッハから。

ヨハン・セバスティアン・バッハ

ヴィラ・ロボス、エイトル **前奏曲**、ギター
第3曲のサブタイトル：バッハへの讃歌

ヴィラ・ロボス、エイトル **パキアナス・ブラジレイラス**
「ブラジル風バッハ」とも訳されます。第1番から第9番まであり、それぞれ演奏手段が異なります。

オネゲル、アルテュール **バッハの名による前奏曲**、アリオートと
フゲッタ (ピアノ)

カセッラ、アルフレード **BACHの名によるリチェルカーレ** (ピアノ)

ケシュラン、シャルル **BACHの名による音楽の捧げもの**
様々な演奏手段による12の部分から構成される作品。当館では第7番
(ピアノ)の録音資料を所蔵。

シューマン、ローベルト **バッハの名によるフーガ** (オルガン)

田辺恒弥 **バッハによる変容** (弦楽四重奏)

野平一朗 **トランスフォルマシオン バッハのシャコンヌ (2000)**
(ヴィオラ四重奏)

野平一朗 **トランスフォルマシオン バッハのシャコンヌ (2001)**
(ヴィオラ四重奏)

ブゾーニ、フェルッチョ **J.S.バッハによる幻想曲** (ピアノ)

プーランク、フランシス **バッハの名によるワルツ-即興曲** (ピアノ)

ペルト、アルヴォ **バッハ主題によるコラージュ** (ハーブシコード、
ピアノ、オーボエ、弦楽合奏)

尹伊桑 **大王のテーマ** (ヴァイオリン)

サブタイトル：Köigliches Thema after J.S. Bach

リスト、フランツ **泣き、嘆き、悲しみ、おのき** (オルガン)

サブタイトル：バッハのカンタータ第12番の主題による前奏曲

リスト、フランツ **B-A-C-Hの主題による幻想曲とフーガ** (ピアノ)

リスト、フランツ **バッハの動機による変奏曲** (オルガン)

リスト、フランツ **バッハの名による前奏曲とフーガ** (オルガン)

リムスキー・コルサコフ、ニコライ **バッハ主題による変奏曲** (ピアノ)

ルーセル、アルベール **前奏曲とフーガ**、ピアノ、作品46

サブタイトル：BACHの名によるフーガ

レーガー、マックス **バッハの主題による変奏曲** (ピアノ)

ずいぶんいろいろありますね。バッハが作曲したフレーズにもとづくもののほかに、音名としてのB-A-C-H、つまりシブラドシという音形をモチーフにした作品もあります。

さまざまな作曲者の名前が並んだのを見て、この中にも「作曲された作曲家」がいるのじゃないかしら、と思いつきました。しりとりよろしくその名前がまた別の作曲家の作品に織り込まれている人物を探してみたところ、リストなどたくさんありそうだったのですが意外にも見つからず、出てきたのがローベルト・シューマンの名前。

ローベルト・シューマン

クルターク、ジェルジー **ローベルト・シューマンへのオマージュ**
(ヴィオラ、クラリネット、ピアノ)

シューマン、クララ **ローベルト・シューマンの主題による変奏曲** (ピアノ)

チャイコフスキー、ピョートル・イリッチ **子供のアルバム** (ピアノ)
サブタイトル：24 pieces faciles (à la Schumann)

ブラームス、ヨハネス **シューマンの主題による変奏曲**
同じタイトルで、ピアノ独奏用の作品 (作品9) とピアノ連弾用の作品
(作品23) があります。

モシコフスキ、モーリツ **シューマンを讃えて** (ピアノ)

さらにしりとりをしてみたところ

ヨハネス・ブラームス

パリー、ヒューバート **Elegy for Brahms** (管弦楽)

ピョートル・イリッチ・チャイコフスキー

アレンスキー、アントン・ステパノヴィチ **チャイコフスキーの主題による変奏曲** (管弦楽)

どうやら、しりどりのルールで言うと、この流れではブラームスとチャイコフスキーが ん にあたるようです。

お題を「モーツァルト」にしてみるとどうなるでしょうか。

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

青島広志 **魔法の鈴** (フルート四重奏)

サブタイトル：モーツァルト「魔笛」の主題による変奏曲

アダン、アドルフ **ああ、お母さん聞いて** (歌劇「トリアードル」より)

サブタイトル：モーツァルトの「ああ、お母さん聞いて」による変奏曲

アルカン、シャルル・ヴァランタン **ドン・ジョヴァンニによるファンタジー** (ピアノ)

サブタイトル：Variations-fantasie on themes from Mozart Don Giovanni

アーン、レイナルド **モーツァルト** (ミュージカル)

グリンカ、ミハイル・イヴァノヴィチ **モーツァルトの主題による変奏曲**
(ピアノまたはハーブ)

シニートケ、アリフレード **モーツ・アルト・ア・ラ・ハイドン**
(ヴァイオリン2台と弦楽合奏)

篠原敬介 **ドン・ジョヴァンニのテーマによる協奏曲** (ヴァイオリン、管弦楽)

サブタイトル：モーツァルト「ドン・ジョヴァンニ」のテーマによる協奏曲

ショパン、フレデリック **お手をどうぞ** (ピアノ、オーケストラ)

サブタイトル：Variations über W.A. Mozart "Reich mir die Hand mein leben" aus "Don Giovanni"

ソル、フェルナンド **モーツァルトの主題による序奏と変奏** (ギター独奏)

ダンツィ、フランツ **協奏曲**、チェロ、管弦楽、第1番、イ長調

サブタイトル：モーツァルトのドンジョヴァンニの主題による変奏曲

チェルニー、カール **フィガロのモチーフによる華麗な幻想曲** (ピアノ)

サブタイトル：Fantaisie sur des motifs de l'opéra Le nozze di Figaro de W.A. Mozart

橋本国彦 **モザートの子守唄** (ヴァイオリン、ピアノ)

“モザート”=モーツァルト、です。この作品は、一般に「モーツァルトの子守唄」と呼ばれているフリス作曲の子守唄にもとづいています。

橋本国彦 **Mozart風のrondino** (ヴァイオリン、ピアノ)

ブゾーニ、フェルッチョ **青春にジグ、ボレロと変奏曲** (ピアノ)

サブタイトル：モーツァルトの主題によるジグ、ボレロと変奏曲

ブゾーニ、フェルッチョ **モーツァルトによる協奏的小二重奏曲** (ピアノ2台)

ペートーヴェン、ルートヴィヒ・ヴァン **お手をどうぞによる変奏曲**

(オーボエ2台とイングリッシュホルン)

サブタイトル：Variations on Mozart's "Là ci darem la mano"

ペートーヴェン、ルートヴィヒ・ヴァン **恋を知る男たちはの主題による変奏曲** (ヴィオラ、ピアノ)

サブタイトル：7 variations sur "Bei Männern, welche Liebe fühlen" de "La flûte enchantée" de Mozart

ペートーヴェン、ルートヴィヒ・ヴァン **変奏曲**、ヴァイオリン、ピアノ、**WoO 40**、ハ長調

サブタイトル：Zwölf Variationen über das Thema Se vuol ballare aus Mozarts Oper Le nozze di Figaro

ペートーヴェン、ルートヴィヒ・ヴァン **娘か女房がいればの主題による変奏曲** (チェロ、ピアノ)

サブタイトル：モーツァルトの「魔笛」の「娘か女房か」の主題による12の変奏曲

細川俊夫 **月夜の蓮** (ピアノ、管弦楽)

サブタイトル：モーツァルトへのオマージュ

参考図書室をあるこう

3



新しく参考図書室に入った本を  (本名 ブタンク BOOとも呼ばれる)が紹介します。



請求記号●X-010b B

X-010b 楽語・事項事典 楽語・楽曲名の言い換えに関するもの

Langenscheidt Schott Musik / von Roberto Braccini. 2. Aufl. 2009

ランゲンシャイト・ショット社 実用音楽用語集 第2版 本文は4ヶ国語

伊、英、独、仏語の音楽用語集。弦楽器、管楽器、打楽器、鍵盤楽器…、声乐、楽譜、音楽理論、日常語に大きく分けて、それぞれよく使われる単語(通し番号付1~3529)を4ヶ国語で言い換えてあります。さらに、各言語固有の単語や表現(全部で700語弱)と、有名曲100曲タイトルの4ヶ国語言い換えの付録つき。著者のロベルト・ブラッチーニはフィレンツェで音楽を学び、現在はルガーノ(スイス)のスヴィッツェラ・イタリアーナ音楽院でピアノ教授法を教えています。

*目次と使い方説明: 4ヶ国語で表記

*索引: 本文掲載全単語 [言語略号付] (付録の700語弱は除外)



スイスは伊・独・仏語いずれも公用語、なるほど納得。この本は海外の音楽セミナー参加や音楽旅行で役立つかもしれない。X-010bの棚には、他にもいろいろな言語の楽語言い換え事典が並んでいる。

X-075 弦楽器及びその音楽に関する参考図書

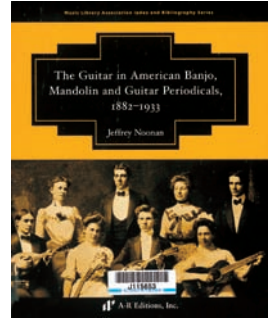
The guitar in American banjo, mandolin and guitar periodicals, 1882-1933 / Jeffrey Noonan. 2009

アメリカのバンジョー、マンドリン、ギター雑誌(1882-1933年)に見るギター

本文は英語

1880年代から1930年代半ば、アメリカ合衆国でBMG運動と呼ばれる運動が盛んでした。バンジョー(B)、マンドリン(M)、ギター(G)の楽器奏者たちが独奏、アンサンブル、オーケストラ編成でダンス音楽からクラシック作品まで盛んに演奏し、楽器製作者、教師、出版社の活動も活発だったそうです。長い間図書館の隅で眠っていた資料の調査により、ほとんど忘れられていたこの運動に光が当てられました。年代順の雑誌記事リストには、宣伝を含む記事・論文、イラスト・写真、ギター作品楽譜、5500件が掲載されています。

*索引: 人名・団体名・用語、主な宣伝項目、ギター作品(タイトル、編成)



請求記号●X-075 N



日本でも20世紀はじめにイタリアからマンドリンが入って、1910年代には大学のマンドリンオーケストラも誕生した。この時代、太平洋の両側でこうした活動があったとわかると興味がわくね。

X-078b 管弦楽に関する参考図書

Orchestral "pops" music : a handbook / Lucy Manning. 2009

“ポップス”管弦楽: ハンドブック 本文は英語

ポップス・コンサートのレパートリー、650人を超す作曲家による2000曲あまりをリストアップした待望の新刊です。作曲者順に並べられた本文は、演奏時間が一目でわかる表形式で、タイトル、編成、編曲者、ジャンル/テーマ、楽譜の出版(絶版の場合はレンタル情報)が記されています。編成の表記は数字と略号によるので、序文にある説明をよく見てください。楽器編成、演奏時間、タイトル、そしてテーマ別の詳細な索引がついているので、様々な観点から曲を探すことができます。

曲の選定のために、著者はアメリカ交響楽団連盟に属するオーケストラでポップス・コンサートを開催している約600団体に、過去5シーズンのプログラム提出を依頼し、100近い団体から回答を得たそうです。同じ出版社Scarecrowから、Orchestral music Handbook(クラシック編)も出ています。

*索引: 楽器編成、演奏時間、テーマ、タイトル



テーマは、動物、環境、ファンファーレ、ポピュラーソング、季節、宇宙、スポーツ、国・地域、などなどいろいろ。実用的なので、コンサート・プログラムを考える人の力強い味方になると思う。



今回の3冊は、数字とアルファベットが並んでいるだけで一見地味だけど、中身はユニーク。前書きを見ると、それぞれ著者の熱い思いがジュワジュワと伝わってくる。

図書館ホームページ <http://www.lib.kunitachi.ac.jp> 新刊情報→参考図書  で紹介しています。

一九〇二年の晩秋、ヴィーンにカプスという名の青年がいた。陸軍大学で学ぶまだ二〇歳にもならない青年である。自分の素質に合わない学校で学びながら、彼は詩を書いていた。雑誌に投稿しては、編集部からその詩が送り返されてくる。自信をぐらつかせ、他人の詩と比べてみる。そして自分の詩がいかどうかに思い悩んでいる。将来に不安を覚えた青年は、思い余ってリルケに手紙を書き送ったのである。数編の詩を添えて。

やがてリルケから長文の手紙が届いた。

「あなたは外へ眼を向けていらつしやる、だが何よりも今、あなたのなさつてはいけないことがそれなのです。誰もあなたに助言したり手助けをしたりすることは出来ません、誰も。ただ一つの手段があるきりです。自らの内へお入りなさい。あなたが書かずにいられない根拠を深くさぐつて下さい。それがあなたの心の最も深い所に根を張っているかどうかを検(しら)べてごらんなさい」(『若き詩人への手紙』新潮文庫)。

時折、講義を聴いてくれた在學生や卒業生から、知らせが届く。コース試験、大学院入試、卒業演奏、留学、コンクール等々、日ごろの研鑽の成果を試す節目がある。首尾よく良い成果を得た知らせには、私もうれしくなる。しかし、意に添わない結果に悩む人たちもいる。

それを聞くと、私も言葉を失う。優秀な人たちであるのに。けれども、ひよつとすると、それはチャンスかもしれない。もう一度初心に帰って、音楽の喜びと深さ、そして厳しさに思いをはせる機会となるかもしれない。

ふと、リルケの言葉が心に浮かぶのはそんな時である。音楽とは別の分野であるが、私も何度も苦い経験をしているからである。

CD 1週間貸出の状況について

閲覧参考部A V担当

延滞、事故、不正な利用などのケースが多発した場合は貸出期間の再検討を条件に4月より、学生へのCD 1週間貸出が実施されました。今回、4～6月までの貸出状況を報告いたします。

- 学生へのCD貸出の返却期限内返却率は、2009年4月は78.3%、5月は79.3%、6月は84.9%と昨年度(59.1%)を上回る結果となり、さらに月ごとに返却率は向上しています。
- 本年度4月～7月中旬までの延滞資料の督促、返却資料に関する利用者への問い合わせの件数は例年並でした。1週間貸出の実施によって件数が急増することはありませんでした。
- 1週間貸出開始前に予想されていた、資料の利用の競合による「いつも貸出中」というクレームは、4～6月中にはありませんでした。

このように現時点では皆様のご協力のおかげで、貸出期間の再検討をさせるような大きなトラブルはありませんでした。今後も1週間貸出を継続していきたいと思っております。今後ともこの状況を維持していきたいと考えておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

The Darkness of Karajan

演奏学科弦管打楽器専修 (トランペット) 3年
永井綾

カラヤンは今年で没後20年。去年は生誕100周年ということもあり、近年カラヤンに関する様々な本が出版されている。

カラヤンといえばクラシック界では「帝王」と呼ばれているが、なぜ単なる「王」ではなく「帝王」なのか？それは彼の波乱万丈な下積み時代によるものなのかもしれない。

今回私が紹介する本はカラヤンがベルリンフィルの首席指揮者になるまでの過程をフルトヴェングラーのキャリアや当時の時代背景とともに書き綴られた『カラヤンとフルトヴェングラー』である。

舞台はナチス政権下のドイツ。音楽を敬愛するヒットラーに協力することがドイツ音楽界で生きていくために不可欠な時代だった。当時

●ながいあや 新書の効能持っているだけでちよっぴんナリに見える…かも。笑

ベルリンフィルで腕をふるっていたのは3代目指揮者のフルトヴェングラーである。彼はヒットラーお気に入りの指揮者であったため「ナチスの音楽家」という印象を持たれていた。ではカラヤンはこの世界で音楽活動をするためにどんなアクションを起こしたのか。

これは私にとって一番インパクトが強かった出来事でもある。それは、カラヤンがナチスに入党したことである。ちなみにカラヤンはオーストリア人で生粋のドイツ人ではない。何よりも驚いたのはその入党理由。

「出世したかったから」ただそれだけ。音楽のためなら世界をも敵に回せてしまうカラヤン。おそろるべし！

終戦後、カラヤンは非ナチ化審理において高ランク犯罪者のレッテルを貼られる。もちろんフルトヴェングラーも犯罪者扱いをされた。しかしカラヤンは妻がユダヤ人のクォーターであることを理由にすぐに音楽活動の再開が許される。音楽のためなら妻をも利用するカラヤン。ずる賢い！

これは物語のごく一部。ほかにもゲシュタポに盗聴、スパイされてしまふという話や音楽マネージャーやナチスの官僚との駆け引きの話は、ちよっぴんサスペンスの要素があつて

ヒヤツとする。また、第2次世界大戦の音楽事情にも触れている点はとても興味深い。しかし、何よりも印象的なのはカラヤンの美しい音楽を求めるからこそにじみ出る闇の部分である。この本を読んだあとカラヤンの音楽を選ぶ視点や聞く姿勢がぎつと変わるだろう。



請求記号●J110-570
中川右介『カラヤンとフルトヴェングラー』(幻冬舎新書)



演奏学科鍵盤楽器専修 (ピアノ) 3年
鈴木信太郎

皆さんは「ピエール・ブレーズ」という名前を聞いて、指揮者と作

曲家のいずれを思い浮かべるだろうか。殆どの方は指揮者ブレーズを思い浮かべるに違いないし、かくいう僕も始めのうちはそうだった。

ブレーズの名前を初めて知ったのは彼の指揮で録音された、あるCDだった。中学生のころ、なかば「手当たり次第」に近・現代の器楽作品のCDを涉猟していた僕は、ある日、それまで聴く機会がなかったストラヴィンスキーの「バレエ音楽」に手を出してみた。そのCDで、クリーヴランド管を指揮していたのが、ブレーズその人であった。冷静に設計された、透徹した響きの演奏であつたが、同時に伝統と深い研究に裏付けられた演奏にも思えた。今でもその時の鮮烈な驚きを覚えてい

る。このCDをきっかけに、僕は現代音楽全般に急激にのめり込んでいった。そうした過程で、優れた作曲家としてのブレーズに出逢うのにそう時間はかからなかつたのは当然のこと。様々なジャンルに亘る彼の作品を聴くようになったのだが、今回は、彼が作曲家としてデビューする以前の作品である《ピアノソナタ第1番》を紹介させていただこうと思う。「作曲家」ブレーズの作品として公にした最初のもの、この直後に書かれる《ピアノソナタ第2

番」とカンタータ《水の太陽》であり、ソナタ第一番はいわば「習作」のよくな扱いになるのだろうか。

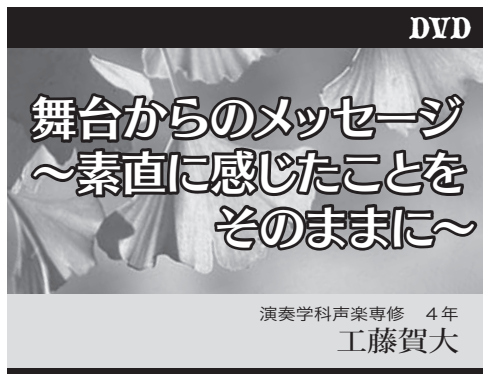
この《第一ソナタ》は2楽章からなり、両楽章とも形式的には、提示、対照、展開、反復といった図式的な、伝統的な観念とはほとんど関係ない連続的な変化、展開の音楽となっている。また音列技法においても、厳格な十二音技法からは離れた独自のものである。

それまで、現代音楽という大量で不協和音を鳴らすイメージが僕にはあった。しかし、この曲にはモティーフの多用や主題労作といった特徴とともに、そのダイナミズムがあくまで「静的」なのである。かのボリーニのレパートリーでもある第2ソナタは、「爆発と固定」というブーレーズの作品にとつて重要な要素を含んでおり、この作品も素晴らしいと思う。一方既に述べたように、第1ソナタにはその要素はあまり感じられない。2つのソナタを比較してみると、幾分第1番のほうが内向的に感じる。元々内向的な作品が好きなので、この第1番に惹かれたのか、第2番や他のピアノ作品と聴き比べて、その意外性に惹かれていったのか。今になって考えてみるとそのどちらでもあったように思う。

今もなおこの曲は僕の興味をそつて止まない。是非この機会に皆さんに聴いていただきたいと思う。



請求記号●XD55723
The three piano sonatas /
Boulez. Deutsche
Grammophon, UCCG-1227



演奏学科声楽専修 4年
工藤賀大

「幸せを感じる時」は人それぞれに異なるだろうが、私はオペラに出かけるときにこそ、それを心底感じる。この原稿を書いている数日前にもミラノ・スカラ座が来日公演

を行い(2009年9月)、来年の夏にはトリノ王立歌劇場が初来日。《椿姫》と《ラ・ボエーム》のタイトルロールを人気ソプラノ歌手、ナタリー・ドセイとバルバラ・フリットリがそれぞれ担う。チケット争奪戦も熾烈をきわめるだろう。私自身、今回のミラノ・スカラ座チケット(学生券)発売日には携帯電話のボタンがすり減るくらいアタックしたが売り切れ。無念の涙を流した一人である。

今回紹介する資料はオペラの中でも人気が高く、演奏回数も多いモーツアルトの《フィガロの結婚》。生誕250年を迎えた2006年、モーツアルト・オペラの理想的上演を目指して、視覚や音響面で全面改装した「(新)ハウス・フュア・モーツアルト」のこけら落とし公演となったのがこの《フィガロの結婚》である。

この演出の大きな特徴はやはり天使ケルビムの登場であろう。舞台上の成り行きを全て支配する進行役、男女関係に影響を及ぼす存在、そしてケルビノの分身(スピリチュアルな部分として)。序曲の後半くらいから颯爽と邸宅へ現れるが、これから起こることをすでに予見しているようで、見ている側としては複雑な心境になってしまふ。

結果としてケルビムは第4幕の幕切れに窓から飛び降りて邸宅内から姿を消す、と同時にケルビノは息絶える。登場人物がそれぞれ元通りになることに納得できなかったのかと疑問になるが、見終わった直後《たわけた一日》ではない!と感想を抱いたのはこのオペラで初めてである。

しかし歌い手はいずれも超一流揃いで、そのアンサンブルには舌を巻いた。指揮者ニコラウス・アーノンクールとウィーン・フィルの演奏で、スザンナには人気絶頂のアンナ・ネトレプコ、フィガロには今年来日したイルデブランド・ダルカンジェロ、伯爵には個人的に崇敬しているボー・スコウフス、伯爵夫人には気品たっぷり宗教曲にも精通しているドロテア・レシュマン、ケルビノにドイツリートでも有名なクリステイーネ・シェーファー。

是非一度ご覧になって、率直な感想を聞かせて頂きたい。



請求記号●VE1870
『フィガロの結婚』ユニバーサル
UCBG-1202~3

●すずきしんたろう 永野英樹やP.L. エマールのCDもオススメですよ。

●とてつよしひろ この紹介に至るまで、書いては消す...を繰り返したのはひとえにこの作品の濃密な3時間をお伝えしたかった故!

冬休み貸出

冬休み貸出が12月1日(火)から始まります。返却日は1月8日(金)以降になります。楽譜や本、CD(学内者のみ)を長く借りられるのでご利用ください。

楽譜の探し方ガイダンス

10月5日(月)から10月9日(金)まで、「練習や勉強にきつと役立つ楽譜の探し方ガイダンス」を行いました。参加者は本学学生・大学院生・教職員あわせて11名でした。バッハのインヴェンションやオペラの自筆譜、フアクシミリ、全集楽譜、原典版等を系統的に展示し、実際に手にとっていたきながら、OPACでの探し方を分かりやすく説明しました。

コンクール課題曲の試聴 (Naxos Music Library)

9月1日より、「日本音楽コンクール」「全日本学生音楽コンクール」「仙台国際音楽コンクール」の課題曲が試聴できる特設ページが開設されました。Naxos Music

Libraryのトップページからアクセスできます。インターネット室、または図書館ホームページの「学内者専用データベース入口(利用者ログイン)」（本学学生・大学院生・教職員の方のみ）からご利用ください。

サウンズボードと インターネットラジオ

ただ今、インターネット端末での楽曲配信サービス利用環境向上のために、H1、I1、J1の端末にサウンズボードを試験的に組み込んでいます。また、インターネットラジオの試聴もできるようになりましたので、あわせてご利用ください。分らないことがありましたら、カウンターにお問合せください。サウンズボード導入における音質の向上と、インターネットラジオ試聴について、皆様のご感想をお待ちしています。

センプイの作品

AV資料室のCD展示コーナー。掲示板にて、本学卒業生および本学関係者の作品を随時ご紹介しています。先輩たちの活躍をぜひご覧ください。

10月12日(月)～11月6日(金) ブッチーニ「La Rondine—つばめ—」 企画●国立音楽大学附属図書館広報委員会

11月8日(日)に行われる音楽研究所 オペラ演奏研究部門公演に先立ち、「La Rondine (つばめ)」に関する資料を展示します。

11月9日(月)～12月4日(金) LA PENSÉE MUSICALE—チャルメラの精神世界— 2009年度国立音楽大学音楽研究専修 研究発表会資料展 企画●国立音楽大学音楽研究専修(音楽学研究コース、音楽情報社会コース、 マネジメントコース)専門ゼミI, II

♪ソラシ〜ラソ ソラシラソラ〜…♪
何のメロディかわかりますか? そう、あの有名なラーメン、チャルメラのCM曲です。今年の研究発表会では、チャルメラという楽器をテーマに、あまり知られていないその姿を明らかにしていきます。

テーマ展示 in ブラウジング ルーム・ AV資料室

ガイダンス

- 9月16日(水) 古川聡先生ゼミガイダンス(3年・幼児教育)
- 9月17日(木) 神戸愉樹美先生クラスガイダンス(1~4年・ヴィオラ・ダ・ガンバ)
- 10月14日(水) 宇佐美明子先生ゼミガイダンス(3年・幼児教育)

ゲ ス ト

9月26日(土) 国立音楽大学バレーボール部OG・OBの方々 10名



Library Calendar

11

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

1

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

2

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

3

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

■ Parlando・3Fの22号・265号・November 5, 2009・3Fの22号は「語りかけるまちを歌へ」として原簿の総括印刷です ■発行・国立音楽大学附属図書館 ■編集担当 三宮部真砂子・森岡倫子 ■

- ◆ 閉館
- ◆ 月～金 8:50～19:00 (書庫内資料の受付は18:00まで) ● A V資料室 8:50～18:50 (受付は18:10まで)
- ◆ 土 8:50～17:00 (書庫内資料の受付は12:00まで) ● A V資料室 8:50～12:00 (受付は11:50まで)
- ◆ 印 8:50～17:00 (書庫内資料の受付は16:50まで) ● A V資料室 8:50～16:50 (受付は16:30まで)